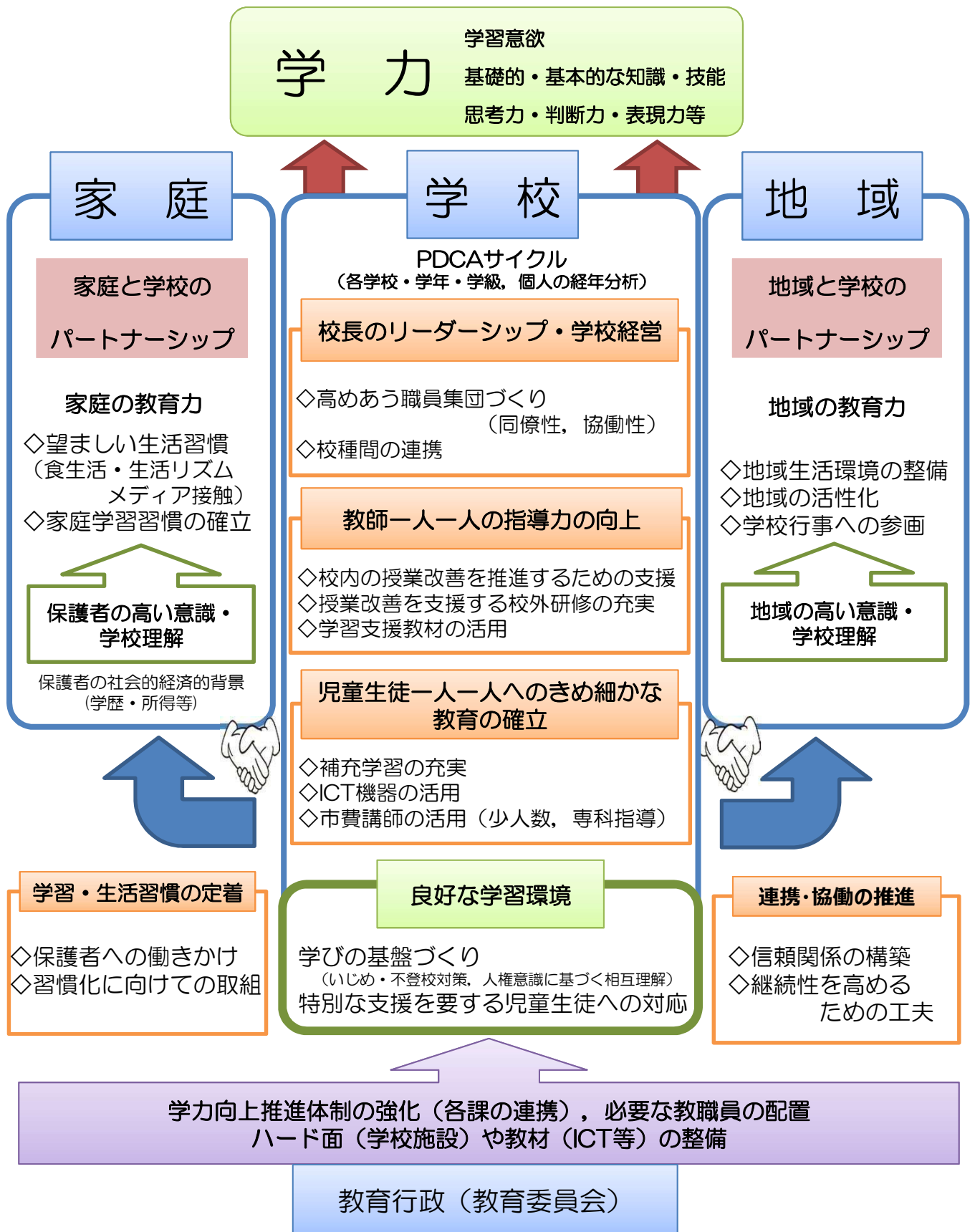


(6) 学力に影響を与える要因

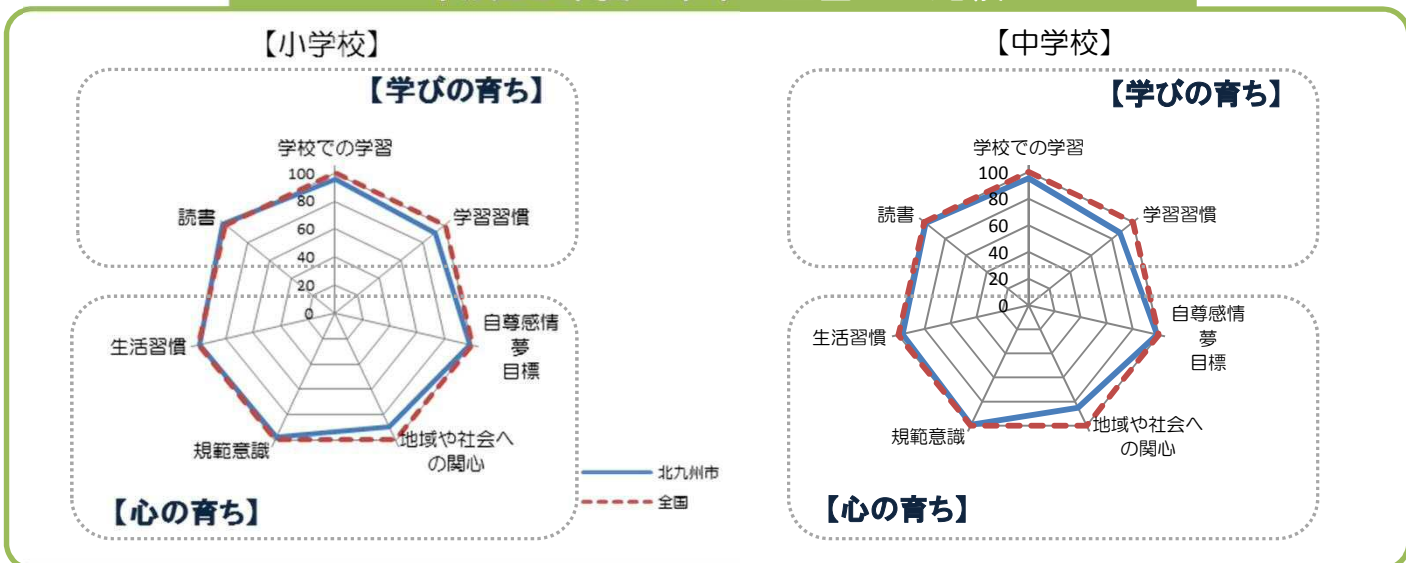


## (7) 学習状況調査結果 ～「学びの育ち」と「心の育ち」の更なる成長に向けて～

児童生徒質問紙から、「学びの育ち」と「心の育ち」に関係の深い質問項目を選び、子どもたちの質問に対する回答状況を数値化し、指標としています。

		質問項目
学びの育ち	学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
		家で、学校の宿題をしていますか。
		学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
	学校での学習	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
		授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
		授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
		授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
		学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。
		学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
	読書	読書は好きですか。
心の育ち	生活習慣	朝食を毎日食べていますか。
		毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
		普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）
	規範意識	学校のきまり・規則を守っていますか。
	地域や社会への関心	今住んでいる地域の行事に参加していますか。
		地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。
	自尊感情 夢 目標	自分には、よいところがあると思いますか。
		将来の夢や目標を持っていますか。
		人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

### 平成28年度 本市と全国との比較





## ～学校質問紙調査及び児童生徒質問紙より～



### 「学びの育ち」について

家庭での学習習慣の定着については、H25年度の実施状況と比べると小中学校ともに伸びてきているものの、全国と比較するとやや下回っている。小学校では、「学校の宿題をしている」項目が全国とほぼ同程度である。学校ごとに宿題プリントを作成したり、学年ごとに家庭学習の時間を示すなどの取組が継続して行われている成果である。

また、「自分で計画をたてて勉強している」項目については、「あてはまらない」と否定的な回答をした児童生徒が全国と比較して6ポイント程度高い。今後、児童生徒が意欲的に家庭学習に取り組み、学習習慣の定着を図っていくためには、宿題や自主学習を課した後の確認・評価を徹底することが重要である。

学校での学習については、「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）を示したり、授業の最後に学習内容の振り返りを行ったりする」取組が小中学校ともに全国を上回っている。3年前の実施状況と比べると小学校では約6ポイント、中学校では約13ポイント伸びてきている。授業改善に向けた取組の成果である。

ただし、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」ことについて肯定的に回答している児童生徒の割合は、3年前に比べて伸びてはきているものの、全国平均には至っていない。今後は、授業展開における話し合いの場の設定を工夫したり、話し合いの質的向上を図ったりするなど、アクティブ・ラーニングの視点をとり入れた授業づくりを行うことが重要である。

### 「心の育ち」について

生活習慣での「就寝時間」については、肯定的な回答が増えているが、「朝食の摂取率」については、全国平均を下回っており依然として課題である。「メディアへの接触時間」は、小6中3ともに、全国平均を上回っており、ゲームをする時間は増加傾向にある。これについては昨年度から引き続き本市の課題である。PTAやいじめ防止サミットin北九州などで「ケータイ スマホ 夜10時電源OFF運動」への取組を啓発しており、各家庭で話し合ってルールを作るなど、より一層、具体的な取組が求められる。

規範意識・地域や社会への関心での「学校のきまり・規則」については、各校の実施状況により、改善傾向が見られる。また、「地域や社会への関心」については、肯定的な回答の割合が、小6中3ともに全国平均を下回るが、小6では昨年より増加している。引き続き、地域との連携を図り、児童生徒が地域の一員であるという自覚を育むことが大切である。

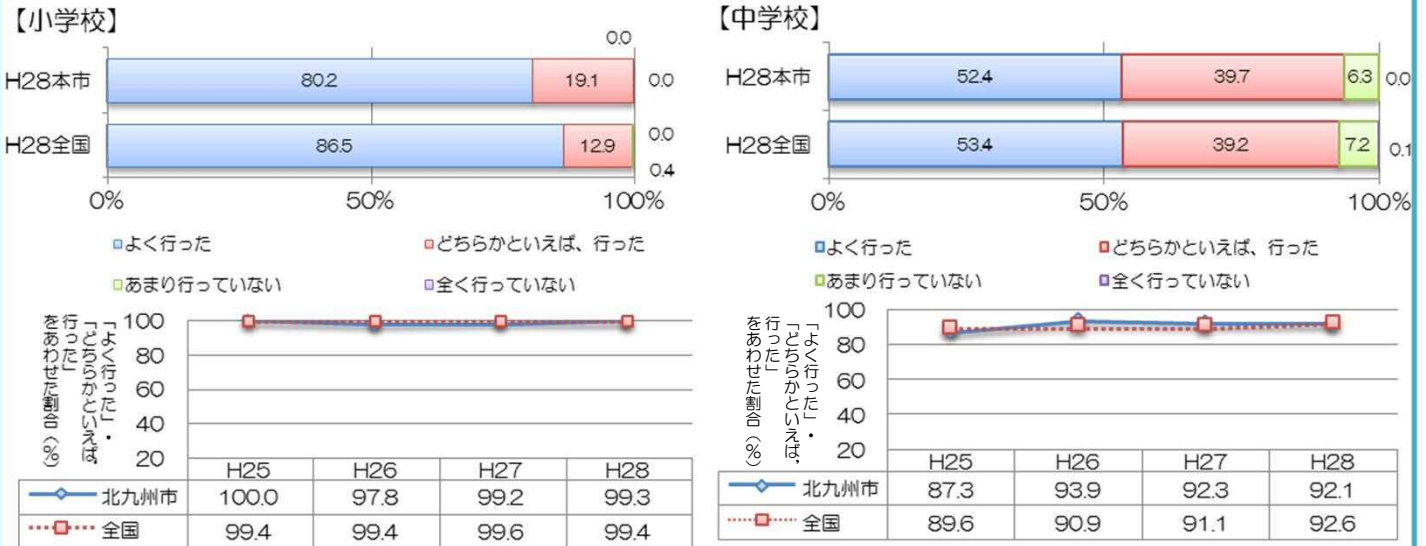
自尊感情の「自分には、よいところがある」については、H25年度の実施状況と比べると、小6中3ともに肯定的な回答が増えている。一方、「将来の夢や希望を持っている」については、「当てはまる」と回答した小6中3がともに減少傾向にある。今後も、学校・家庭・地域での様々な活動を通して、児童生徒が自己有用感を実感したり、達成感を味わうことができたりする機会を設けていくことが大切である。

# ①学びの育ち 【宿題について】

～学校質問紙より～

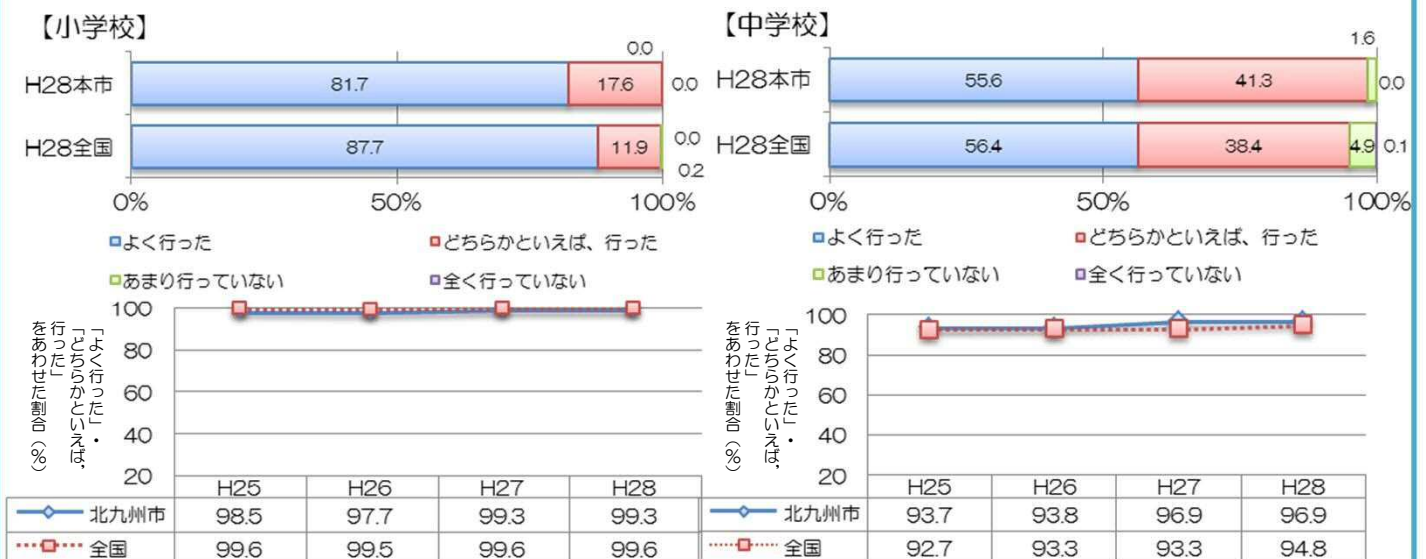
学校質問紙から、「学びの育ち」に関係の深いデータを示しています。（無解答、その他を除く。）

質問番号小92・中90【調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか】



「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか」について肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに全国平均とほぼ同程度である。

質問番号小94・中92【調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、算数・数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか】

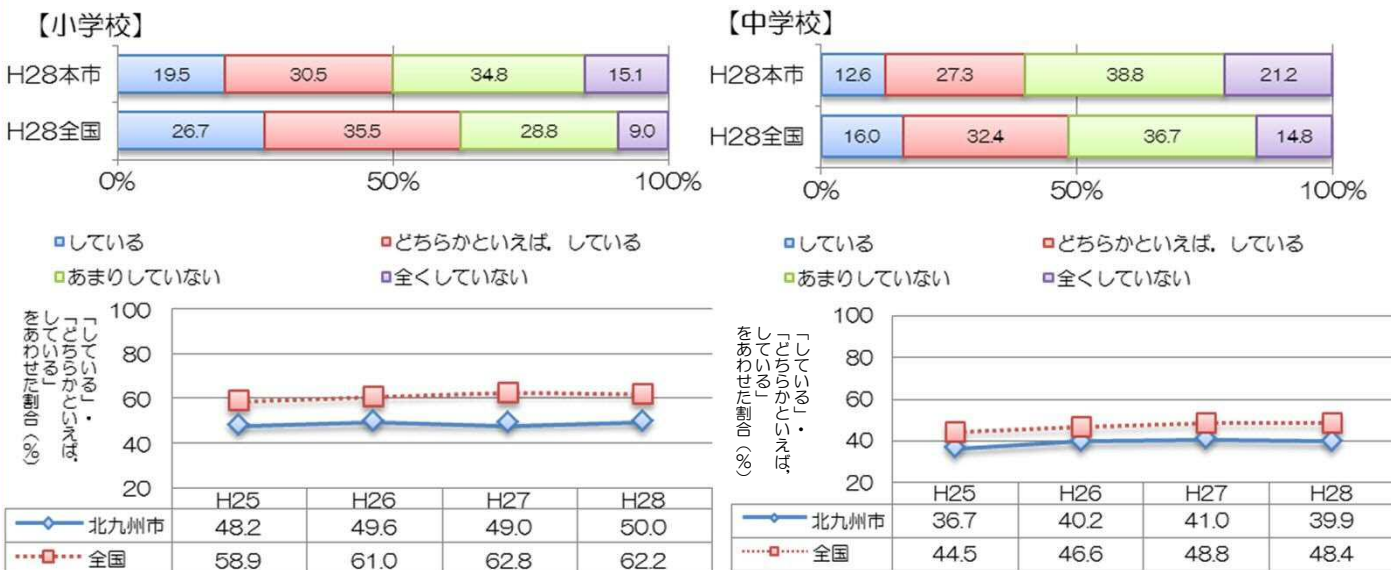


「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに全国平均とほぼ同程度である。



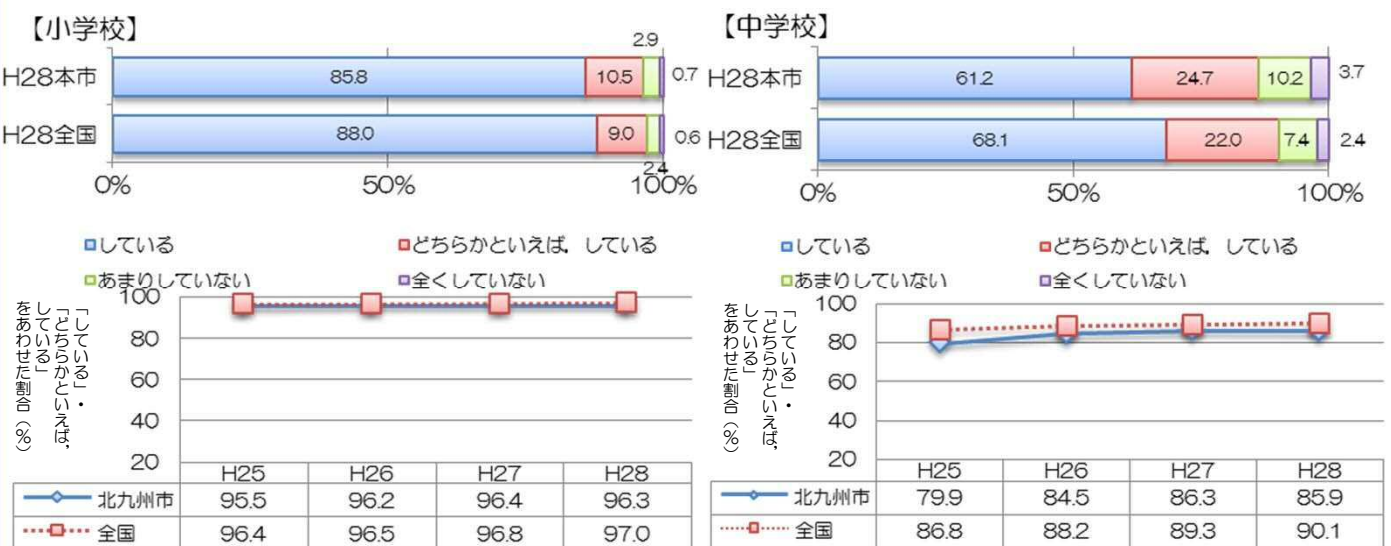
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。（無解答，その他を除く。）

質問番号21【家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか】



「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」について、肯定的な回答をした割合は、小6中3とも全国と比較して下回っている。小6では、昨年度よりも改善しているが、中3では、昨年度よりも若干下がっている。

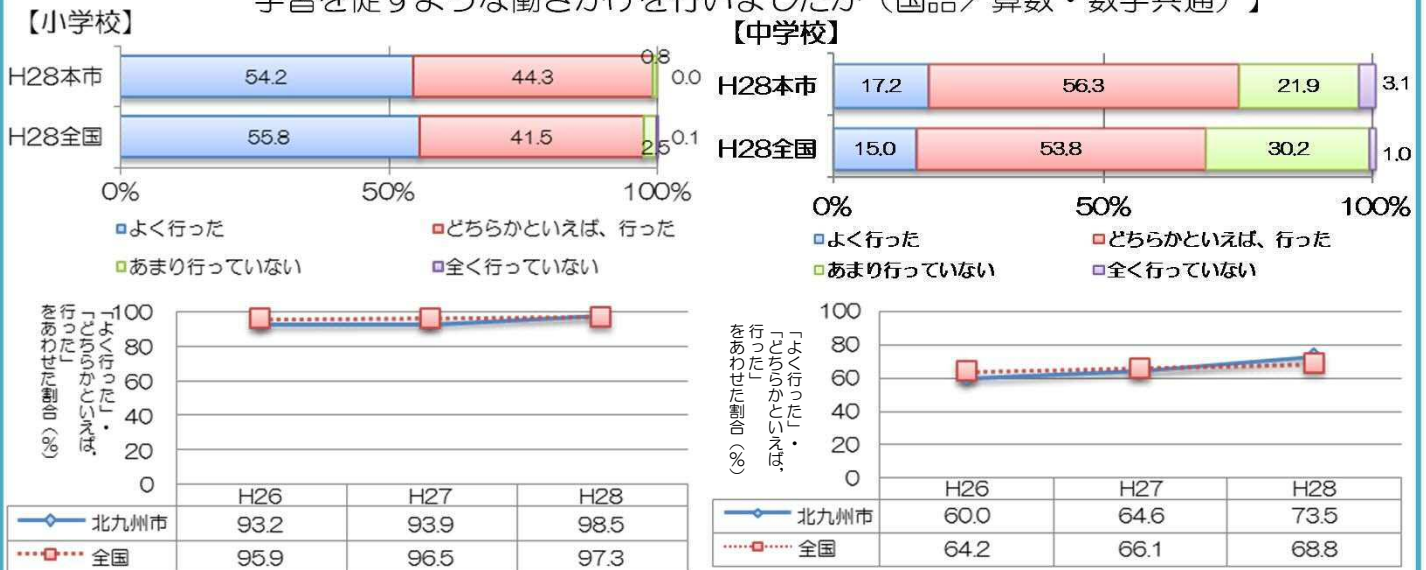
質問番号22【家で、学校の宿題をしていますか】



「家で、学校の宿題をしていますか」について「している」と回答した割合は、小6は、85.8%、中3は、61.2%となっており、ともに全国平均を下回っている。

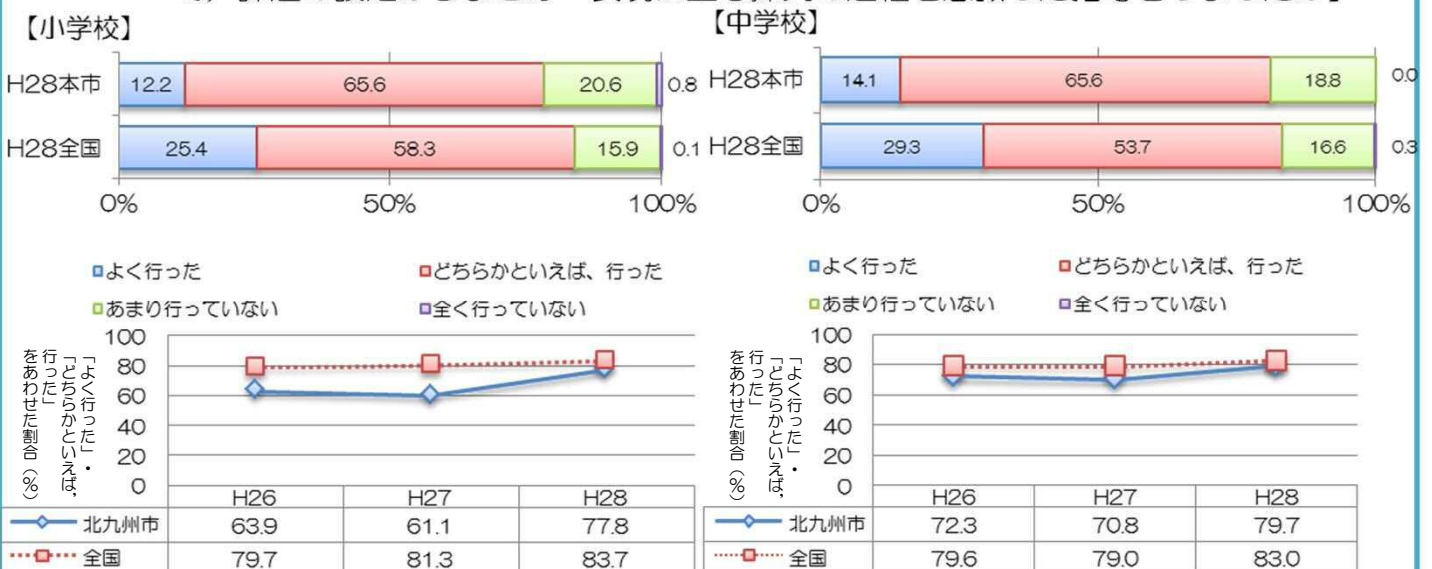
学校質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。（無解答、その他を除く。）

質問番号96 【調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）】



「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）」について、肯定的な回答をした学校の割合は、昨年度より小学校では5ポイント、中学校では10ポイント近く上昇し、全国平均を上回っている。

質問番号43 【調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか】



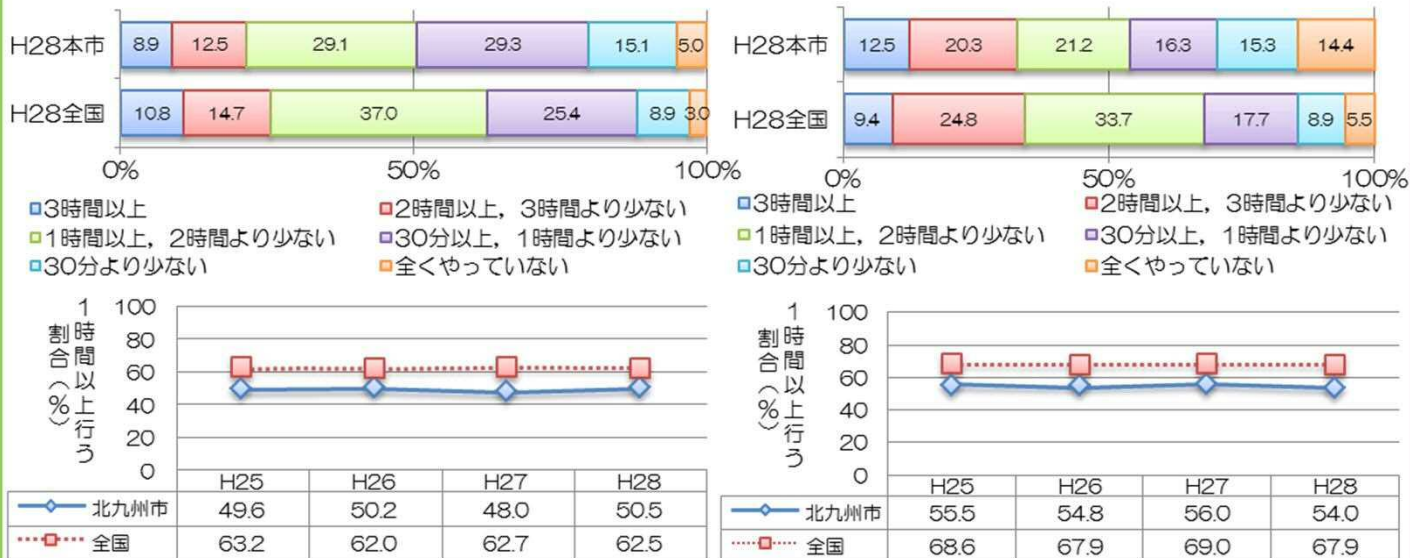
「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか」について、肯定的な回答をした学校の割合は、全国平均を下回っているが、昨年度より小学校では15ポイント以上、中学校では10ポイント近く上昇した。

児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に関係の深いデータを示しています。（無解答，その他を除く。）

質問番号14【学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）】

【小学校】

【中学校】



「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」について「1時間以上勉強している」と回答した割合は、小6では、50.5%、中3では、54.0%となっており、ともに全国平均を下回っている。

質問番号46【「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか】

【小学校】

【中学校】

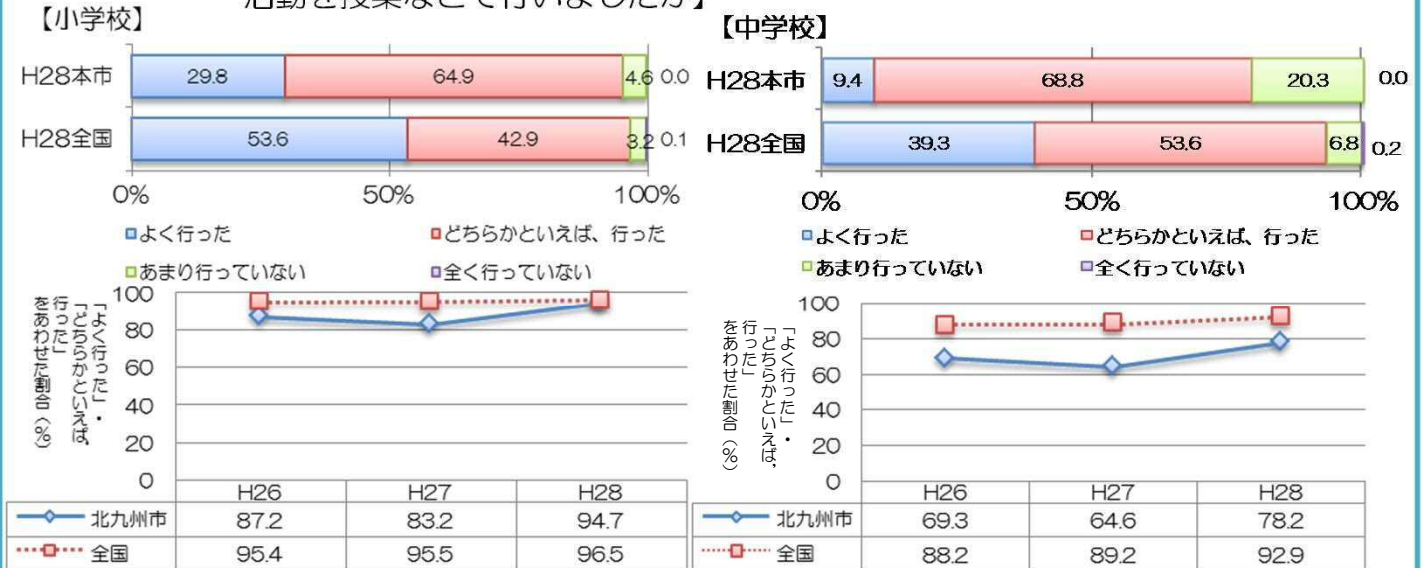


「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいますか」について、肯定的な回答をした割合は、小6中3ともに昨年度より2ポイント以上上昇した。



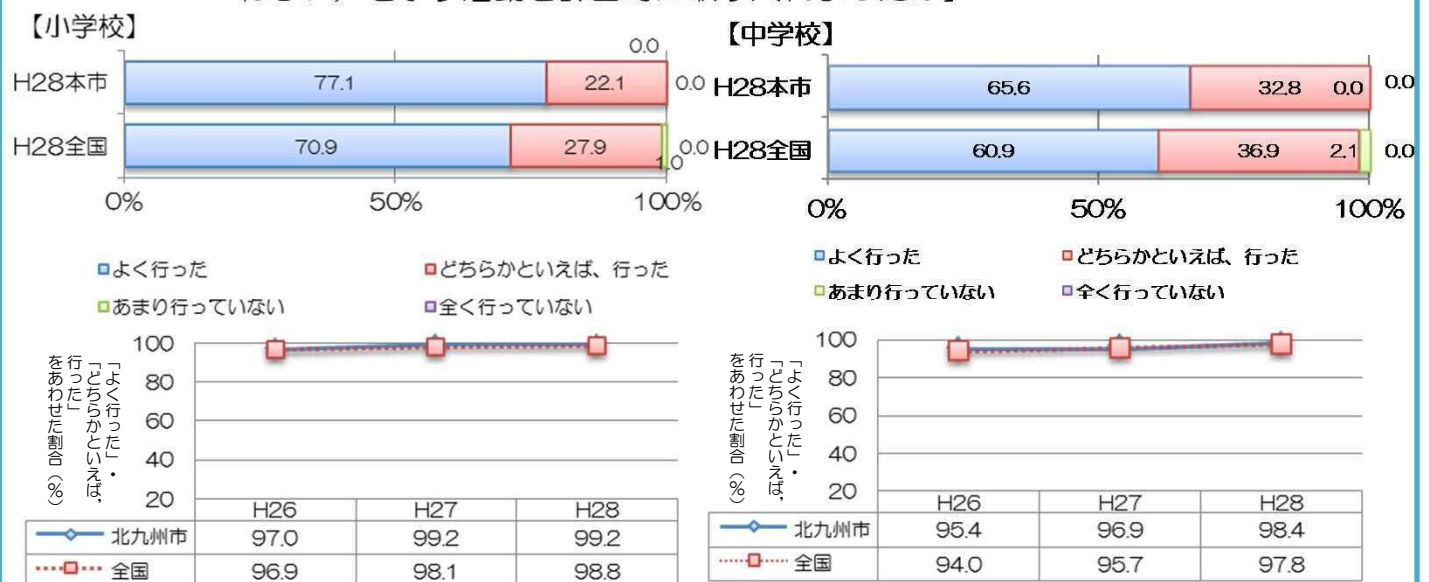
学校質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。（無解答、その他を除く。）

質問番号42 【調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか】



「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに、全国平均を下回っているが、昨年度と比較して増加している。

質問番号36 【調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか】



「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに全国平均とほぼ同程度である。